

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会に適用する規則は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則および大会規定である。
※シューズの使用については、近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会規定に準じる。

2 練習について

練習はすべて補助競技場を使用する。また、公園内での投てき物を持つての練習、ゴムチューブ、ミニハードル、ラダー及びメディシンボール（ロープ付きを含む）等を用いてのウォーミングアップについては一切禁止する。

3 招集について

- (1) 場所はバックスタンド下雨天練習場に設ける。
- (2) 種目別の開始時刻、完了時刻はプログラムの競技日程欄に記載されている。
- (3) 手順
 - ① 招集開始時刻に競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・腰ナンバー（左右両腰につける）・スパイク・ランニングシューズの確認・点検を受ける。
 - ② 点呼の代理は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届（プログラムの末尾に綴込み）を提出し、あわせて招集に来ることが出来ない種目の点呼を（アスリートビブス・腰ナンバー・スパイク・ランニングシューズなどの確認）を受けておくこと。
- (4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場する意思がないものとみなし処理する。
- (5) 当該種目を欠場する者（チーム）は、あらかじめ欠場届を競技者係に提出すること。

4 競技について

- (1) レーン順、試技順はすべてプログラム記載の番号順とする。準決勝、決勝の組合せはすべて番組編成員が行い、場内スクリーンに表示するとともにWEBページ上に掲載する。（掲示板への掲示は行わない）
- (2) 競技結果については場内アナウンスおよびスクリーンで発表するとともにWEBページに掲載する。（掲示は行わない）なお、競技結果が場内スクリーンに確定表示された時点を正式発表とする。
- (3) リレーオーダー用紙の提出について
各リレー種目のオーダー用紙は、すべて1日目の学校受付時に配付する。

ラウンド	提 出 先	提 出 時 刻
予 選	招集所入り口付近の競技者係	1組目の招集完了時刻の2時間30分前から 1時間30分前まで
決 勝	同 上	招集完了時刻の1時間10分前から40分前まで

決勝のオーダー用紙は競技者係で受け取り、必要事項を記入し必ず提出すること。

なお、リレーオーダー用紙の記入例をプログラム巻末に掲載しているので、参考のうえ間違いのないように記入すること。

- (4) トラック競技においては、左右両腰に腰ナンバーをつけること。（リレー種目の第4走者を含む）なお、4×400mにおいては、第2・3走者は右腰にのみつけること。5000m、3000m、3000m競歩は別（胸、腰）ナンバーを使用する。また、1500m、3000mSCは別（腰）ナンバーを使用する。
5000m、3000m、3000m競歩はグループスタートで行う。
- (5) トラック競技における次のラウンドへの進出について
 - ① $(+\alpha)$ を決めるとき、その最下位で同タイム(1/100単位)が出た場合、1/1000秒単位で優劣の判定をする。
(ア)レーンに余裕がある場合・・・同タイム(1/1000秒単位)の競技者の進出を認める。
(イ)レーンに余裕がない場合・・・本人または代理人により抽選する。
 - ② 同着により着取りによる進出者が増えた場合は、 $+\alpha$ での進出者数を減らす。
- (6) 競技運営の都合上、3000m競歩では、男子は19分、女子は23分で競技を打ち切る場合がある。
- (7) 5000m、3000m、3000m競歩については気象状況に応じて給水を行う場合がある。
- (8) トラック競技において競技中に持ち込める飲食物は透明な容器に入った水のみとする。

競 技 注 意 事 項

- (9) リレー競走においては、出場者は同一のユニフォームを着用する。ただし、デザイン・配色が同一であれば、形は問わない。
- (10) 走高跳・棒高跳は、ジャンプオフ方式で1位を決定する。それでも決定しない場合は、抽選で決定する。
- (11) 各種目3位まで（走高跳・棒高跳は上位3名、リレーは6位まで）に近畿大会出場資格が与えられる。ただし、走高跳・棒高跳において3位が2名以上の場合は、ジャンプオフ方式に準じて近畿大会への出場資格決定戦を行う。
- (12) フィールド種目において競技運営の都合上、計測ラインを設ける。（ハンマー投を除く）

5 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、主催者が用意したものを使用する。
- (2) 棒高跳用ポールは、自己のものを使用する。保管場所はバックスタンド下雨天練習場とする。
- (3) やりは競技場備え付けのものを用意するが、検査を受けて自己のものを使用してもよい。その際の検査場所および検査時刻は下記のとおりとする。

検査場所・・・100mフィニッシュ側 A ゲート競技場外

検査時刻・・・1年男 第2日 8:10～ 8:25 1年女 第2日 15:20～15:35

2年男 第2日 10:40～10:55 2年女 第2日 13:30～13:45

6 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。

走 高 跳	1年 男子	決勝	(練)1m50	1m55-60-65-70-75-80-83-86・・・・
	2年 男子	決勝	(練)1m60	1m65-70-75-80-83-86-89-92・・・・
	1年 女子	決勝	(練)1m20	1m25-30-35-40-43-46-49-52・・・・
	2年 女子	決勝	(練)1m25	1m30-35-40-43-46-49-52-55・・・・
棒 高 跳	1年 男子	決勝	(練)1m80 ～4m55	1m85-2m05-25-45-65-85-3m05-15・・・・
	2年 男子	決勝		2m45-65-85-3m05-25-35-45-55-65・・・・
	1年 女子	決勝	(練)1m80 ～4m00	1m82-2m02-22-42-52-62-72-82-92・・・・
	2年 女子	決勝		1m82-2m02-22-42-62-72-82-92-3m02・・・・

※ 1位決定・近畿大会出場資格決定のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

7 種目別表彰について

種目別3位までの表彰を行う。成績発表後直ちにロビーの受賞者席に集合すること。

(他種目に出場中の場合は代理人を出す)

リレー競技の4～6位は賞状を表彰係まで受け取りに来ること。

(近畿ユース大会申込みの自己最高記録確認用紙及びリレーメンバー記入用紙を受け取ること。)

8 その他

- (1) 競技中、競技区域内に携帯電話・スマートフォン・タブレット等の機器を持ち込むことはできない。また、競技区域内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。なお、フィールド種目に出場している競技者が、録画再生機器等をスタンドから手渡しや吊り下げにより競技区域内に持ち込むことも認めない。
- (2) 競技区域内に日傘、折りたたみ椅子、大型クーラーボックス等、競技運営や他の競技者に支障をきたす恐れのある物を持ち込むことはできない。
- (3) 写真撮影を希望する学校は、総務の許可を得て、1校1名に限り撮影を認める。
- (4) 競技場内での応援・横断幕については申し合わせ事項による。
- (5) スタンド、更衣室は常に清潔保持につとめ、ゴミ等は必ず各校で持ち帰ること。

- (6) 競技場内、サブトラック内では日傘の移動しながらの使用は安全確保の観点から禁止する。
- (7) 閉会式後、近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会の出場校顧問打合せを行う。

撮影に関するお願い

本大会における撮影は、保護者、学校・チーム関係者及び主催者が認めた報道関係者に限らせていただきます。なお係員が身分証明書などの提示や競技場内で撮影したすべての写真・動画を確認させていただく場合がありますのでご了承ください。

<保護者の皆様へ>

一眼レフカメラ等で撮影を希望される方は、各校、顧問に申し出て、お子様の日本陸連**登録会員証**を受け取り、来場された際提出し、メインスタンド 2 階中央出入口で撮影許可ビブスを受け取ってください。ビブス着用がない場合は係の競技役員もしくはガードマンからお声を掛けさせていただきます。

スマホ、タブレットでの撮影には必要ありません。

<学校関係者の皆様へ>

総務から許可を得てビブスを着用してください。各校 1 名のみ認めます。



盗撮防止の観点からご協力お願いいたします。